

## 朝鮮半島で戦争の危機

# 日米韓は軍事演習ではなく対話の開始を！

朝鮮半島で実際に戦争が始まる危険性が極めて高くなっています。政府・マスメディアは北朝鮮がヨンピョンドに対してあたかも「突然」に「無差別」の攻撃をして来たかのような情報を流しています。しかし実際には北朝鮮が自国の領海と主張する海域で、米韓が軍事演習「護国」で猛烈な砲撃を行い、北朝鮮が何回も警告したにも関わらず続行したため北朝鮮が砲撃してきたものです。北朝鮮の瀬戸際外交、核開発には反対ですが、今回の問題は第一義的には米韓の挑発的な軍事演習がこのような事態を招いたと言えます。砲撃事件後、米韓は黄海で極めて大規模な軍事演習を行い、それに続けて日米は沖縄南西部で過去最大規模の軍事演習を行いました。

このような軍事演習は対立と緊張を煽る戦争挑発行為です。今はなによりも事件を戦争に発展させないために対話を開始すべき時です。軍事演習ではなく対話こそが平和を維持するための唯一の方法です。平和憲法を持つ日本の菅政権は対話のためのリーダーシップを取るべきです。



## 菅政権は軍拡・戦争政策をやめるべきです

### 中国・北朝鮮との対立を煽る防衛大綱

菅民主党政権はその発足以来、急速に軍拡・戦争政策へと舵を切っています。政府は12月17日防衛大綱を閣議決定しました。この中では沖縄への自衛隊配備増強、南西諸島への自衛隊の新規配備が計画されています。これは「動的防衛力」と称して軍事演習や警戒監視名目の軍事行動を強化して、緊張状態を煽り、実際に衝突や紛争が起これば”シームレス”に戦争に入れる体制を取るという危険な方針転換です。今回は民主党内や社民党からの批判で表現が弱まりましたが武器輸出三原則を緩和することやPKO 五原則の見直しにも触れています。国家安全保障会議という実際に戦争状態を想定した官邸機能の強化も盛り込まれました。

国民が政権交代で託した期待は決してこのようなものではありません。東アジアで対立と緊張を煽る軍拡・戦争政策ではなく東アジア共同体を目指すとした民主党マニフェストに立ち返るべきです。

### 米への「思いやり」は気前よく、なんと5年間保証！

深刻な財政危機にもかかわらず、菅政権は米軍への「思いやり」予算を現状維持で、しかもこれまでの方式を変えて今後5年間その額を保証すると約束してしまいました。米国を含む世界各国で軍事費削減が趨勢のなかでの決定です。米政府高官が「極めて満足」と言うのはあたりまえです。菅政権は米国にたいする「思いやり」ではなく国民への思いやりを優先すべきではないでしょうか。

### 沖縄の民意を無視、辺野古新基地をゴリ押し

仙谷官房長官は普天間移設先について「私の徳島県を含めて、自分のところで引き受けようというような議論は国民的にも出てない」、「沖縄の方々に誠に申し訳ないが、甘受していただくというか、お願いしたい」と沖縄差別の無責任な発言で沖縄の人々から猛反発を受けています。沖縄の声は全国に広がり始めています。朝日新聞の全国世論調査(12月4,5日)では「見直して米国と再交渉する」が59%に達しました。菅政権は沖縄と全国の民意を背景にして沖縄に対してではなく、米国に対して日米合意の再交渉をすべきです。(2010.12.18)

キャンプ座間

## 米軍と一体になり海外で戦争する 中央即応集団司令部の移駐反対！

キャンプ座間への陸上自衛隊中央即応集団司令部移駐の動きが具体化しています。11月4日、防衛省南関東防衛局がキャンプ座間への陸自中央即応集団司令部の建設計画を相模原市に提示しました。地上6階・地下1階の庁舎・隊舎を、来年の3月には着工し、2013年3月までに完成させるという内容です。

また、防衛省は座間市域の返還予定地に司令部家族宿舎建設を抱き合わせで提示しています。座間市では、「基地促進委員会」という密室の諮問機関による答申が提出され、返還地への病院誘致をうたい文句に、建設計画を受け入れようとしています。

2006年合意の日米軍事再編ロードマップでは、キャンプ座間に米陸軍第1軍団司令部と陸上自衛隊中央即応集団司令部の移駐が記されました。米第1軍団は3年前に前方司令部という形で発足し、こんどは自衛隊の海外派兵部隊である中央即応集団司令部が、このキャンプ座間にやってこようとしているのです。

過去最大規模の日米共同統合実働演習が行われるなど、朝鮮半島をめぐる軍事緊張が続くいま、あらためて、キャンプ座間の強化・恒久化が戦争に直結する危険性を危惧します。この街が出撃拠点となり、侵略戦争に加担することにつながる施設の建設に反対して声をあげようではありませんか！

キャンプ座間  
ゴルフ場

## ボール飛び出しに抗議する！ 危険なゴルフ場は閉鎖・返還せよ！

キャンプ座間ゴルフ場からのゴルフボール飛び出し事故がまた発生しました。12月9日、ゴルフ場に隣接するマンション2階の1室に、窓ガラスを貫通してゴルフボールが飛び込んだのです。現場の状況から基地からのボール飛び出しは間違いないものと考えられます。

今年初めに防球ネット延長の工事が行われましたが、その後も飛び出しが続き、市民から根本的な対策を求める声が強まっていました。10月末に米軍から、コースレイアウト変更工事を行うとのアナウンスがあり、その効果を注視していたタイミングでの事故発生です。今回、「ボール飛び出し」が発生した場所は、すでに変更工事が終わっている場所といわれており、だとすればこのコースレイアウト変更も効果が無かったこととなります。

今回の飛び出し事故によっても、これまで繰り返された対策では解決しないことが明らかです。米軍に対し、事故原因の究明とゴルフ場の即刻営業停止、さらに閉鎖及び返還を求めていきましょう。



ボール飛び出し事故発生現場付近  
左側がキャンプ座間ゴルフ場

(2010.12.18)

<http://www.jca.apc.org/~p-news/>

お問合せは [p-news@jca.apc.org](mailto:p-news@jca.apc.org)

ピース・ニュース

TEL 090(7245)7761